




R18  
adult

大蛇の魔物に  
イブ

大蛇の魔物×修道女

罪を犯した修道女は  
大蛇の魔物に懺悔する

A nun who sins repent to the serpent demon.



※注意

異種姦・連続絶頂・断面図・クソニ・フェラ・潮吹き・言葉攻め  
・陰茎重複症(へミペニス)・手マン・アナル挿入・2穴責め・首絞め  
・中出し・強制/無理矢理・乳首責め・男性向けの性描写

上記要素・表現が含まれます、苦手な方はご注意ください。

甘い林檎の香り…

明日この場所から出て  
一緒に遠くへ行こう

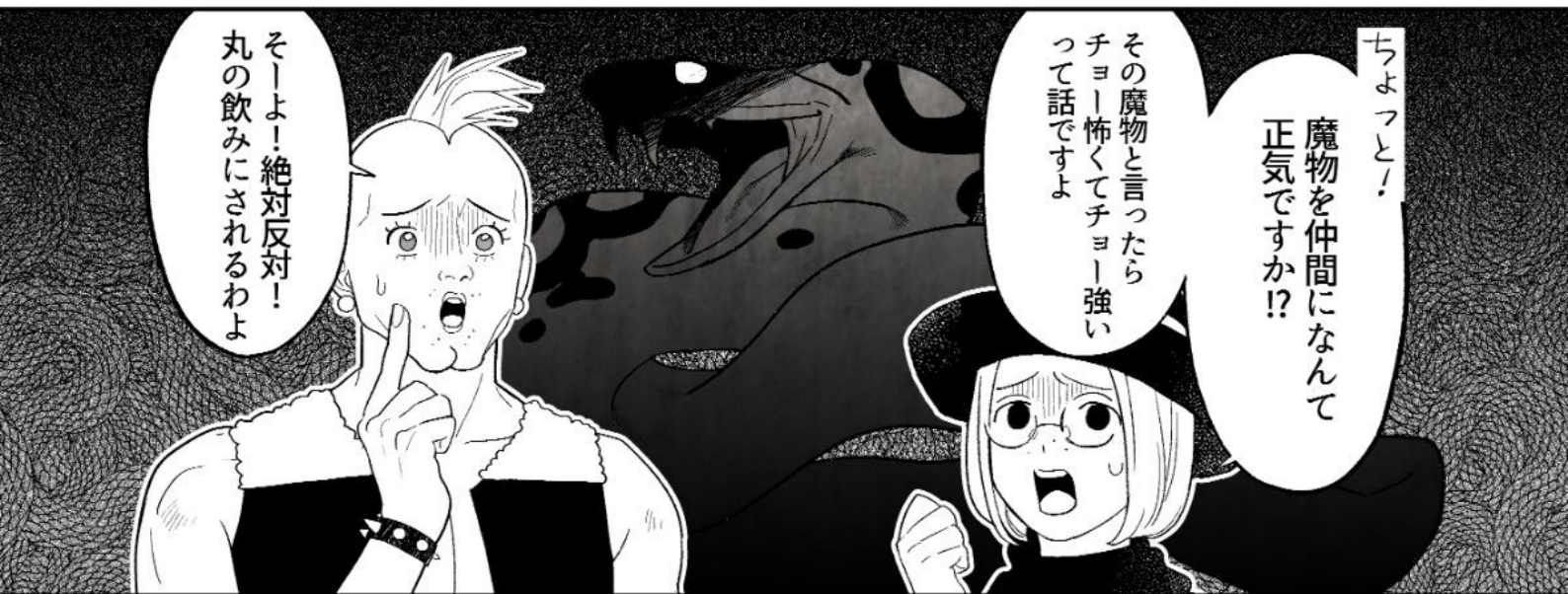
心の奥に隠した  
罪の記憶…

愛してる  
イブ…

ねえ  
それで

よし分かった!

はっ





魔王を倒すために  
冒険をしている勇者様達と  
旅をしている修道女

私の名前は  
「イブ」

「勇者ちゃん」  
走るとコケるわよー



もしかして…



勇者様の言っていた  
「大蛇の魔物」って…

ジャングルエリア到着



お前！  
勇者の仲間になれ！！



俺を仲間になんか？

蛇の姿が見たいのか？

この人が？  
魔物なの？

ジャングルに住む  
大蛇の魔物  
ルシ

敵であるあんたらが俺を引き入れる理由はなんだ？

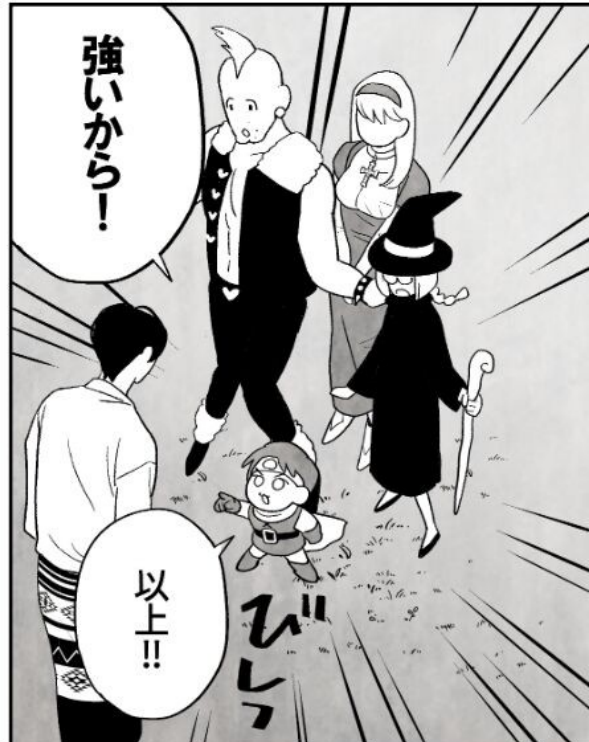
結構です

千



へえ…

千



強いから！

以上！！

ひ



退屈させるなよ

魔物のルシが仲間になった



おもしろそうだな  
いいだろう

俺は魔物だが  
魔王の配下には  
属してないからな

やった  
舌



出来れば  
会いたくなかった…

…

昔とは少し  
雰囲気が変わって  
いるけれど…

間違いない…



彼は…

まだ私が修道院に  
いた頃



村から少し離れた  
森で出会った魔物…

彼は林檎の木の下で  
大きな怪我をして  
座っていた…

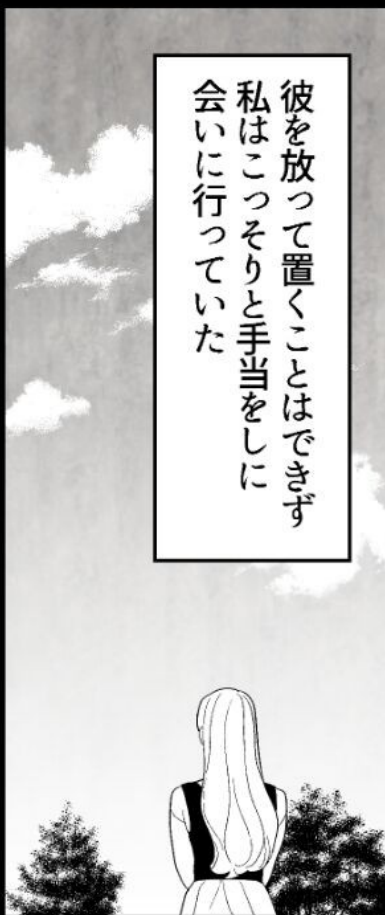


魔物と関わってはいけない  
という神の掟が私の村には  
あったけれど

彼を放って置くことはできず  
私はこっそりと手当をしに  
会いに行っていた

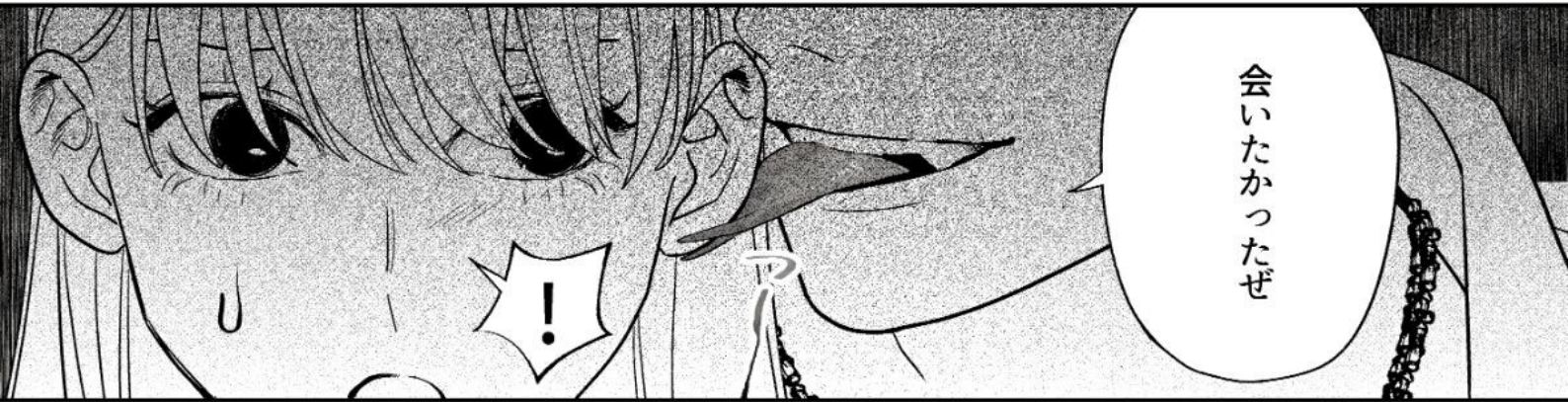
だけどそれが  
村の人に見つかって…

彼とはそれ以来…





久しぶりだな  
イブ



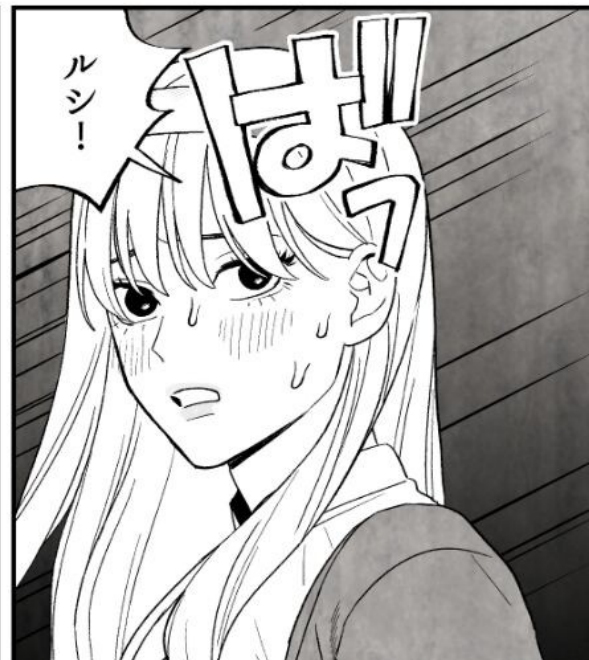
会いたかったぜ



どっ  
何処から入って  
きたの！

ここは私の  
部屋よ！

ちゃんとドアから  
入ってきたぜ…あんたが  
気づかなかっただけだ



ルシ！

はっ

仲良くしようぜ



そんなに警戒するなよ  
俺たちもう仲間だろ？

あ…あの  
そのこと…  
なんだけど

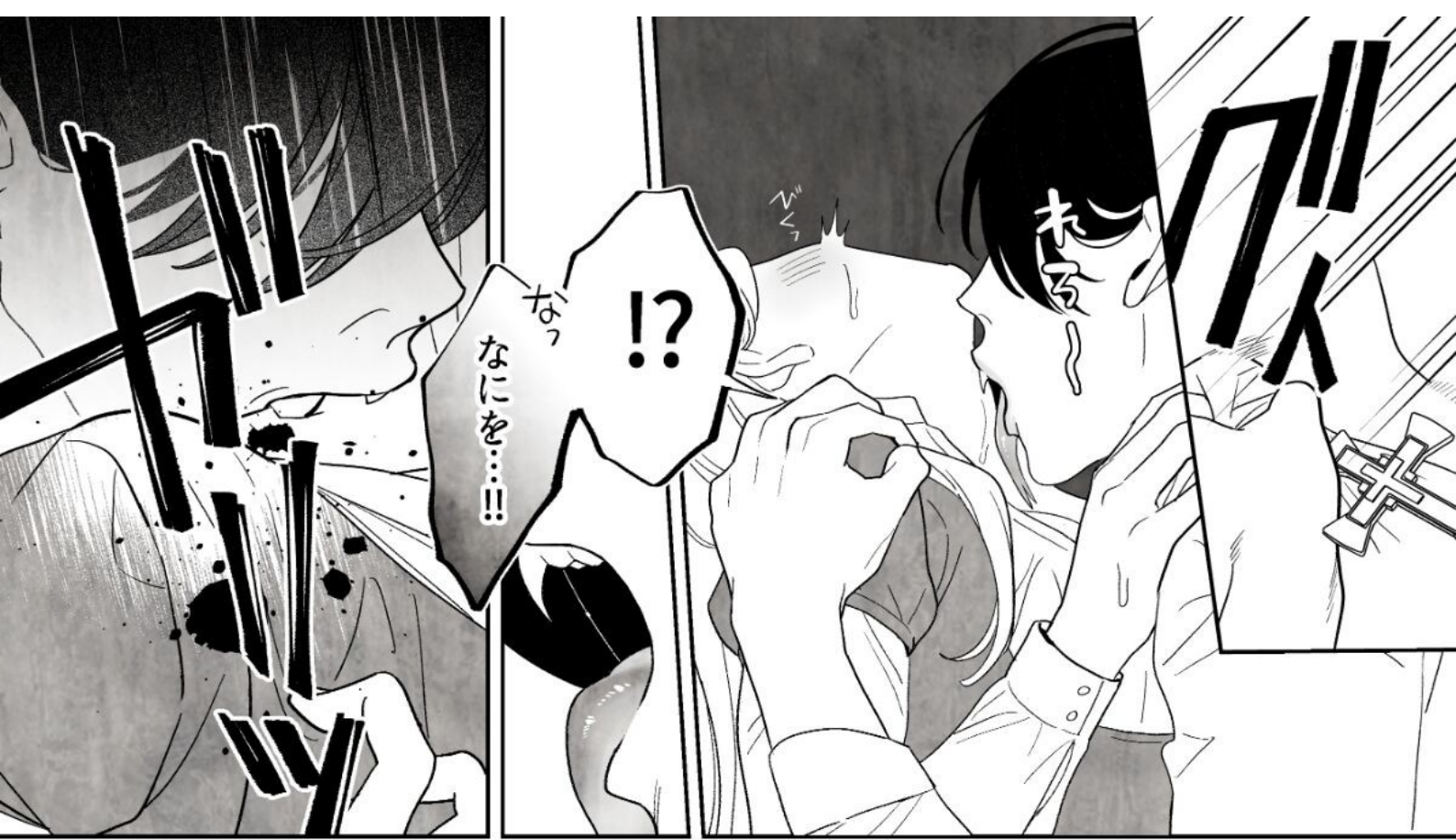


私あなたに  
謝っ…  
え！

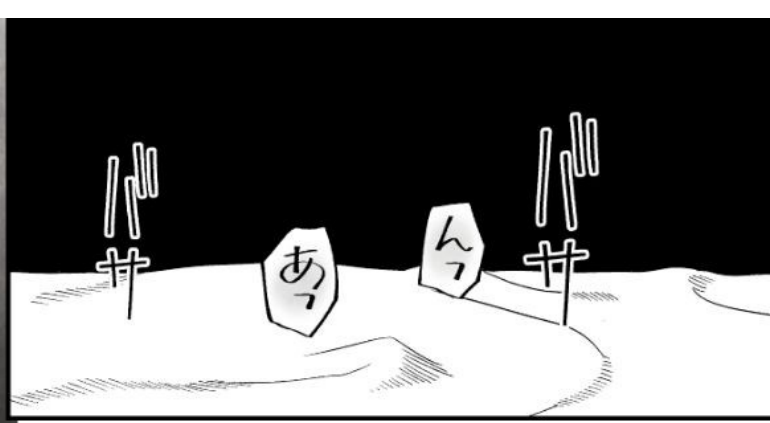


昔のようにな…



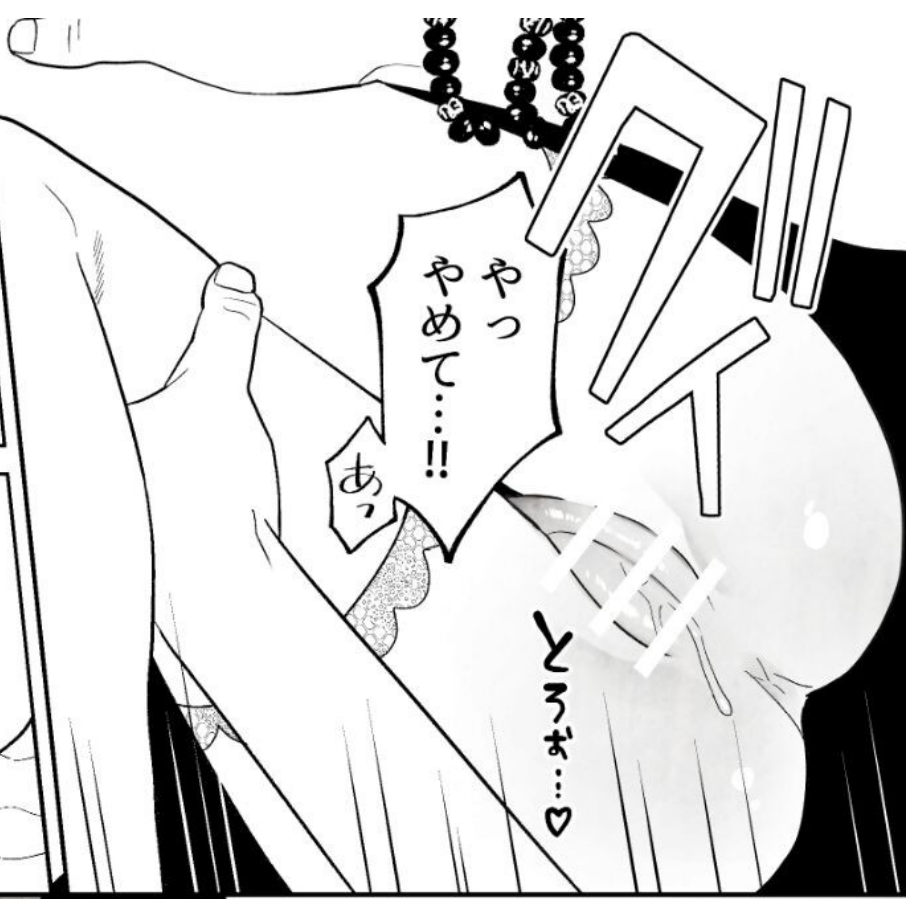








もうこんなに濡れらしていたのか？



やっ やっ やめて…!!

あっ

とろろ…♡



ここからする濃い雌の匂い…興奮するなあ

ふう

あっ



さっきの毒には少しの麻痺の他に催淫作用もあるんだ

おん

さっきからここが疼いて仕方ないだろ？

おん

おん

おん

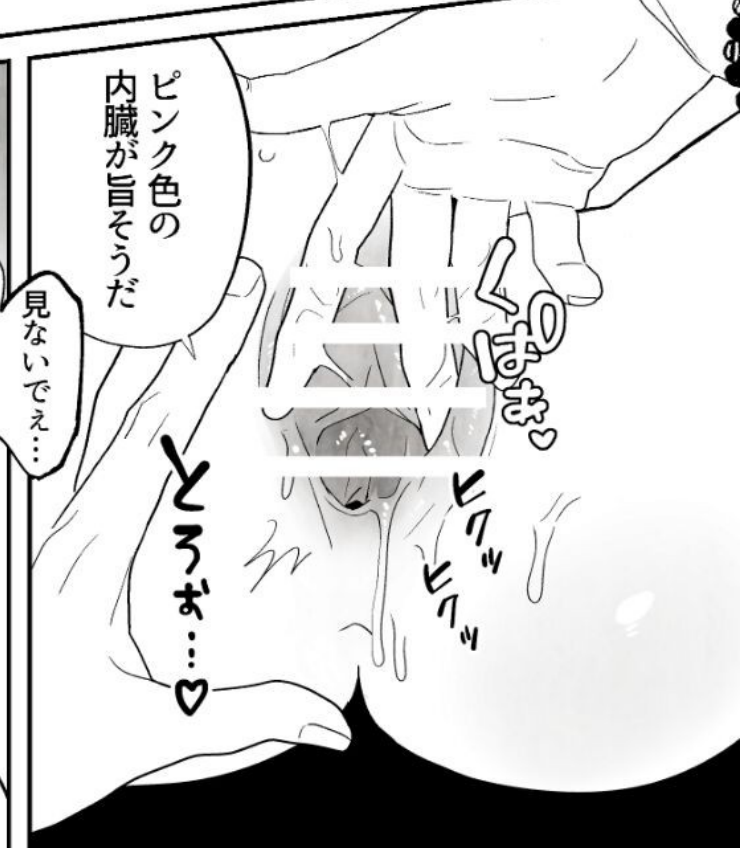
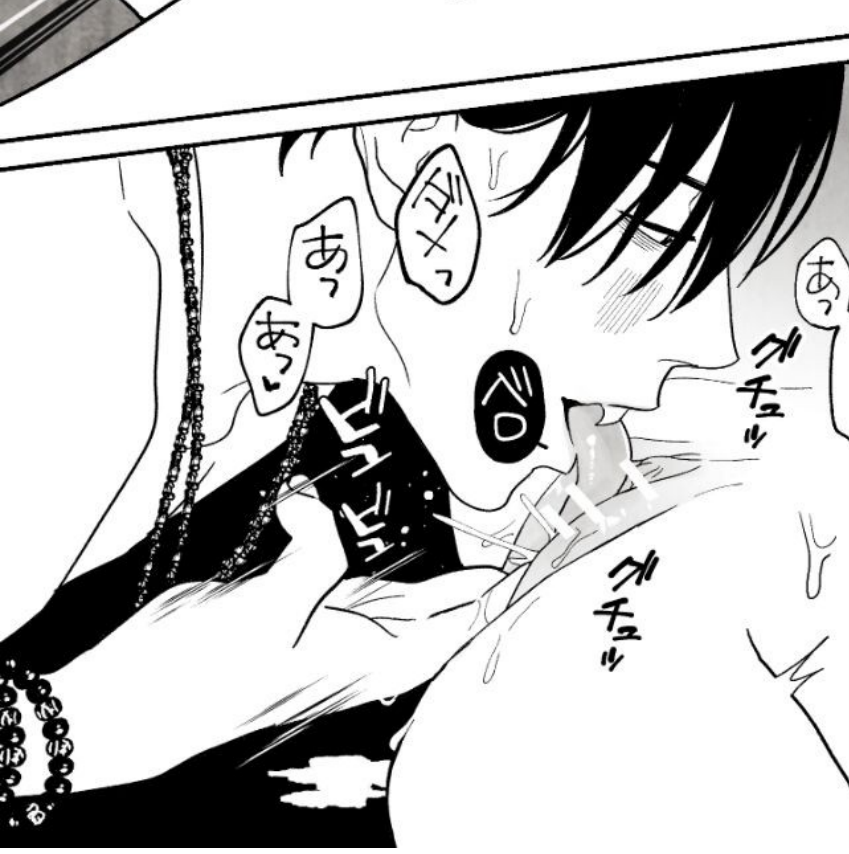
!!

はっ はっ

おん おん

おん

おん









そんな...  
人が見てる前で...  
恥ずかしい...

はーっ  
はーっ



...  
フクヤ...

潮を吹くほど  
ヨかったか？



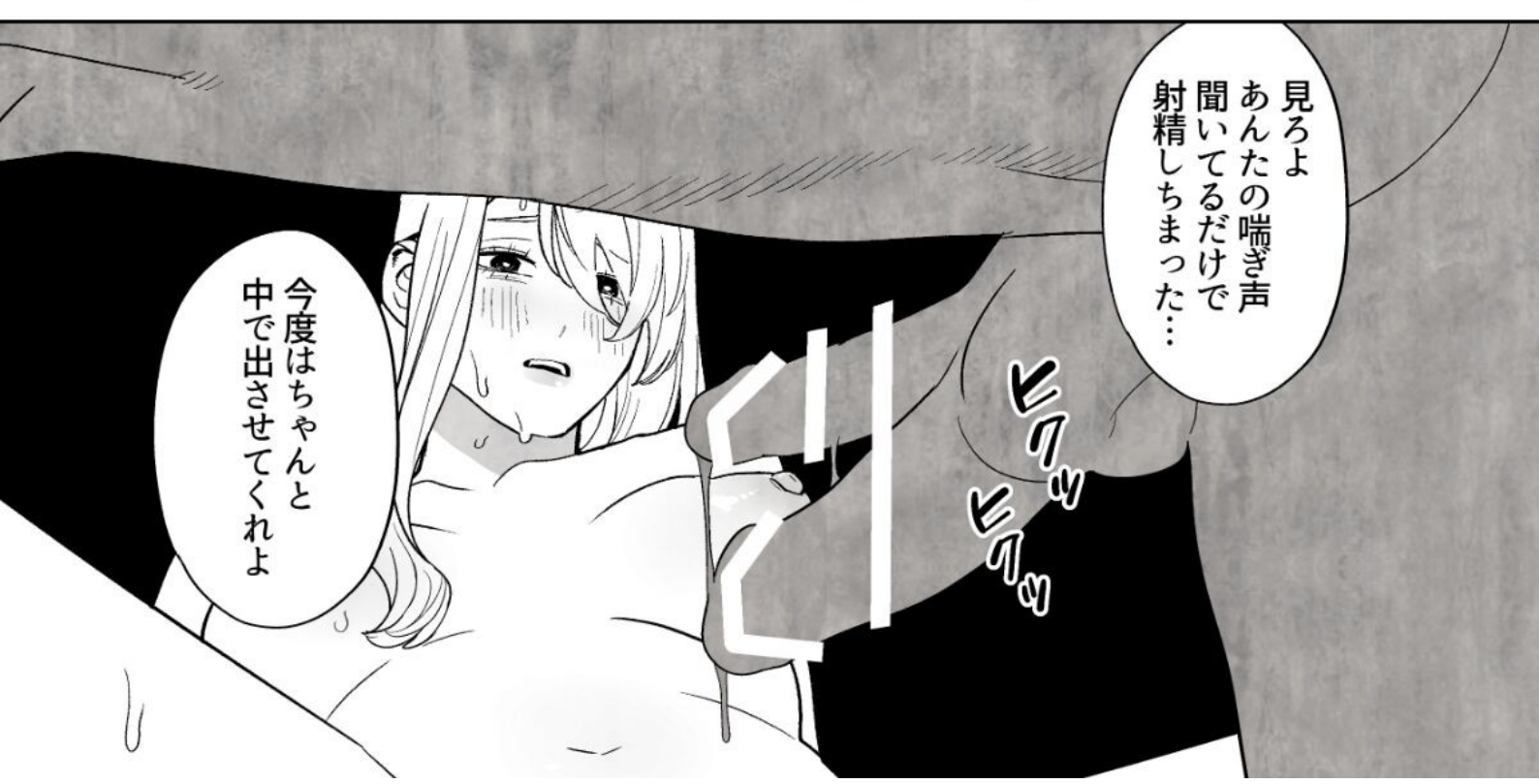
!!

!!  
!!  
!!



恥ずかしがってる  
暇はないぞ

はーっ  
はーっ



見ろよ  
あんたの喘ぎ声  
聞いているだけで  
射精しちまった...

今度はちゃんと  
中を出させてくれよ

クククク  
クククク  
クククク





あ  
激しっ!

深い...!  
そんなに奥まで  
突かないでえ!

いつてる途中に  
またイカされて...



おかしく  
なりそう

あーあ  
魔物とこんな  
事をして

これで二度目の  
掟破りになったなあ  
イブ...

ほ  
ちゃッ  
ほ  
ちゃッ





ほちゅ

ほちゅ

とろろ...♡

きもちいい!

腰が勝手に動いちゃう...!

ほちゅ

ほちゅ

ダメ我慢できない!

あッ



ズイ



なあ

あんた処女  
だったんだろ?

始めてが  
魔物ってのは  
どんな気分だ?

はあ

はあ

ズイ



無視  
するなよ

えろっ

グイ

くちゅっ  
ちゅるっ

くちゅっ  
ちゅるっ



気持ち良すぎて  
言葉もでないか？

あっあっ  
あっ

くちゅっ  
ちゅるっ

くちゅっ  
ちゅるっ

くちゅっ  
ちゅるっ

違っ…

違うわけないよな  
凶星なんだから？  
自分から腰が  
動いてたぞ

くちゅっ

くちゅっ  
ちゅるっ

はっ

はっ

くちゅっ  
ちゅるっ

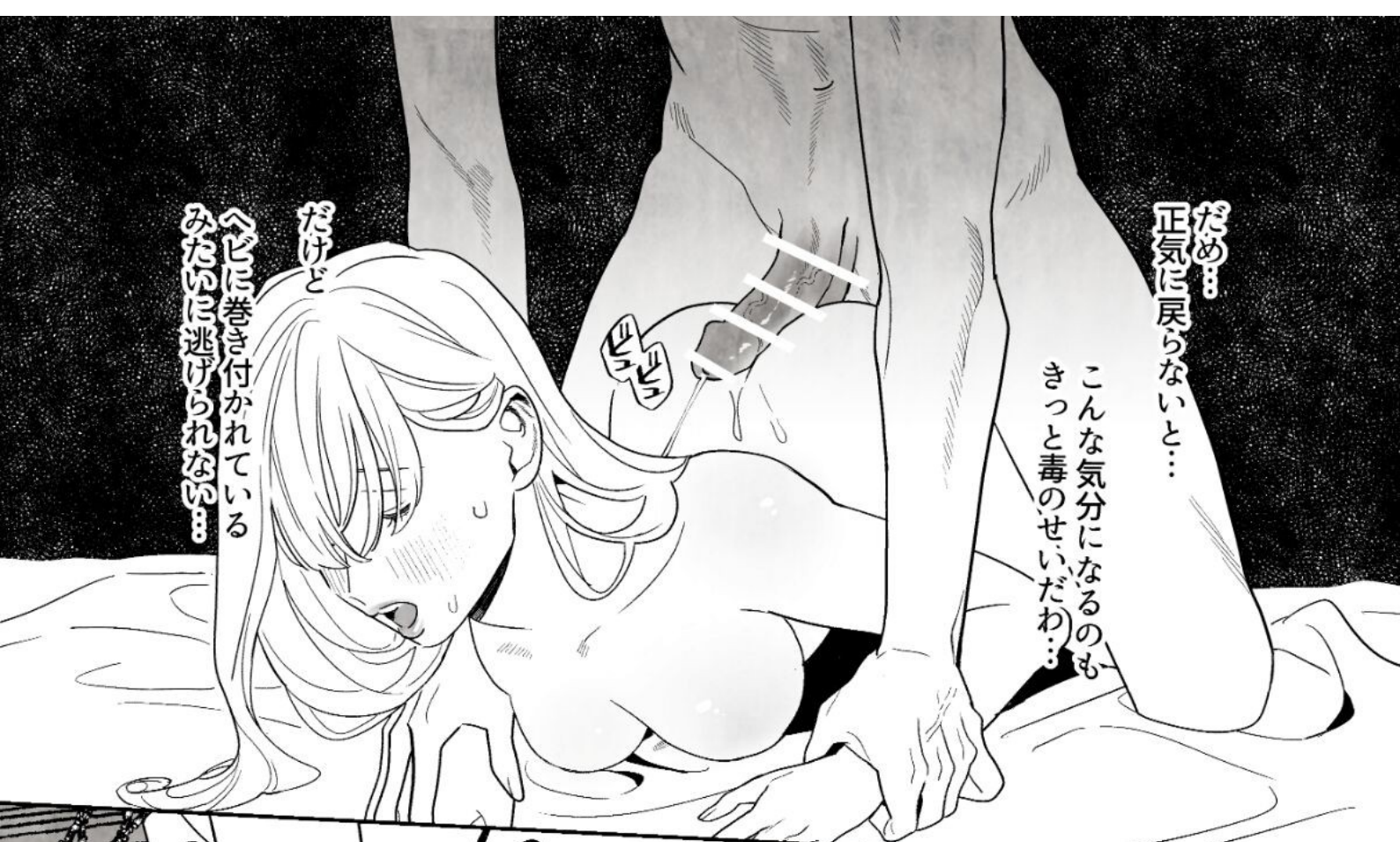
くちゅっ  
ちゅるっ

くちゅっ

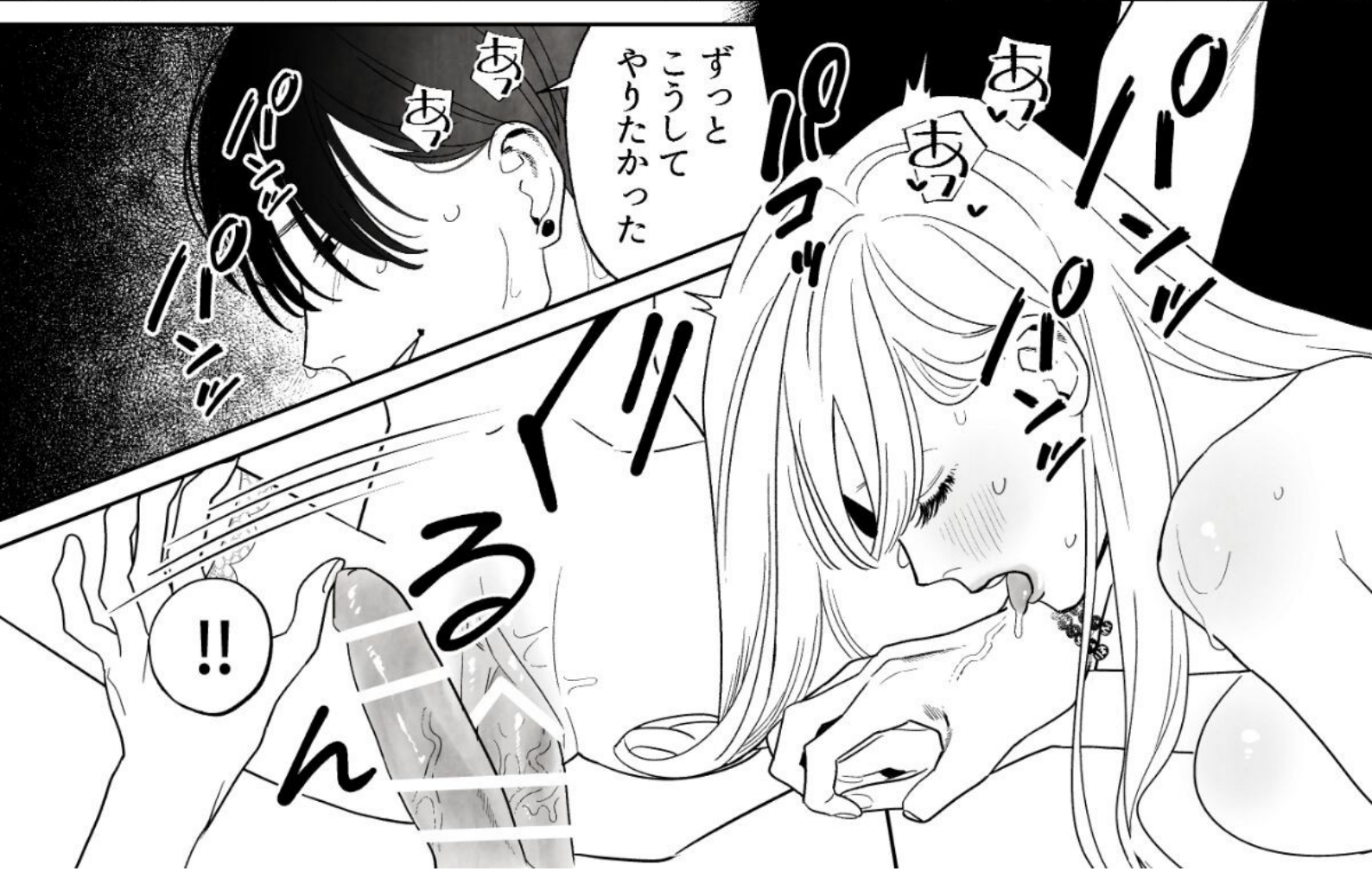
だめ！！  
正気に戻らないと…

こんな気分になるのも  
きつと毒のせいだわ…

だげど  
へビに巻き付かれています  
みだりに逃げられない！！



ずっと  
こうして  
やりたかった





カッポッ

ドクドク

あっ!

びゅる

気持ち良すぎて  
射精が止まらないなあ

まだ出てる

ビク

ビク

ニクニク

ビク

ちゅ

んっ!

ヒュッ

カッポッ







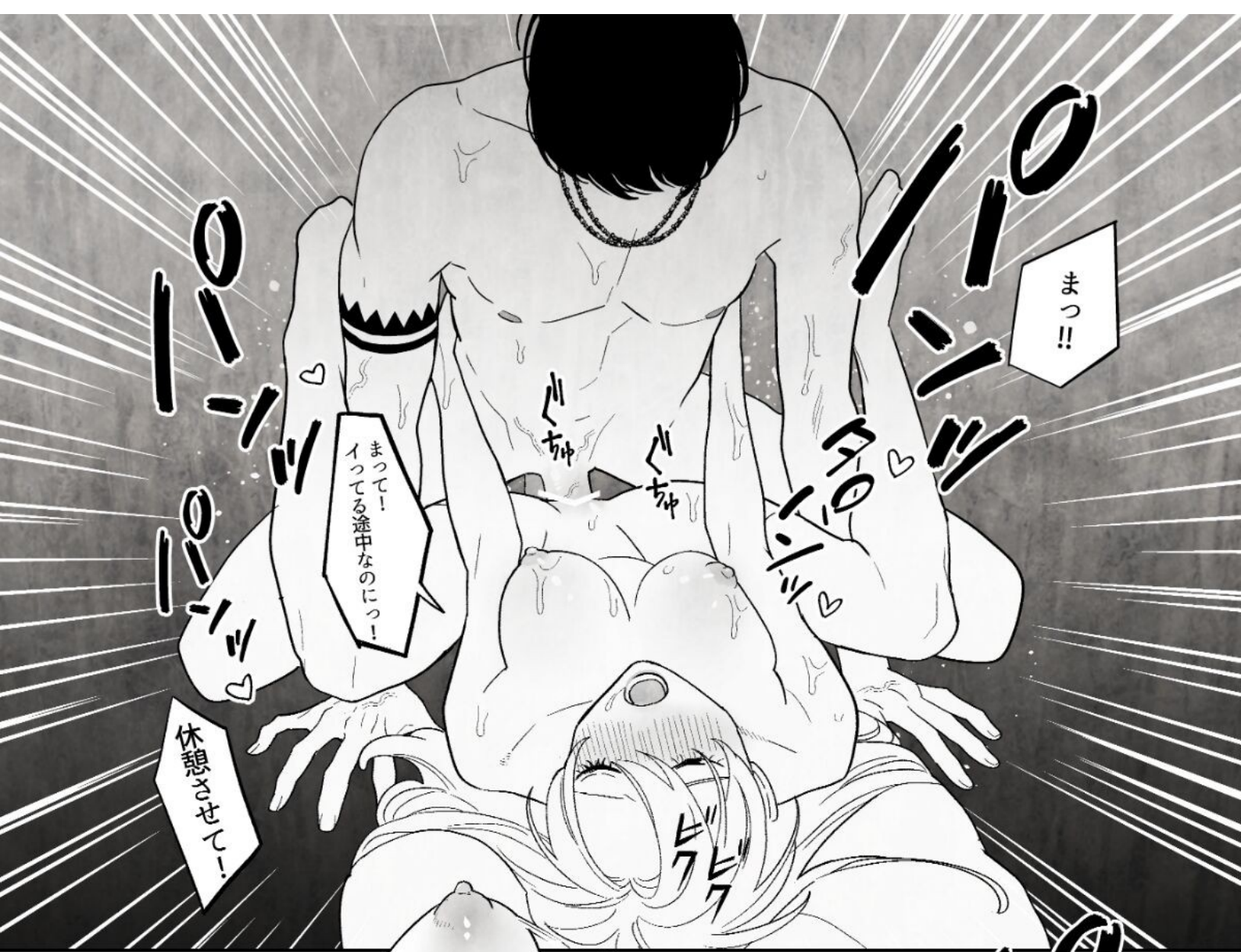


一六同時挿入を味わったら  
普通のセックスじゃ  
満足出来なくなるぞ？

ああ  
あんたこれが  
初体験だったか？







まっ!!

まって!  
イってる途中なのにつ!

休憩させて!



あんた  
今自分がどんな顔  
をしているかわかるか?

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

あー!!





修道女が  
快楽に溺れて  
だらしがないな

も...終わりに...

タラ  
タラ  
タラ  
あー

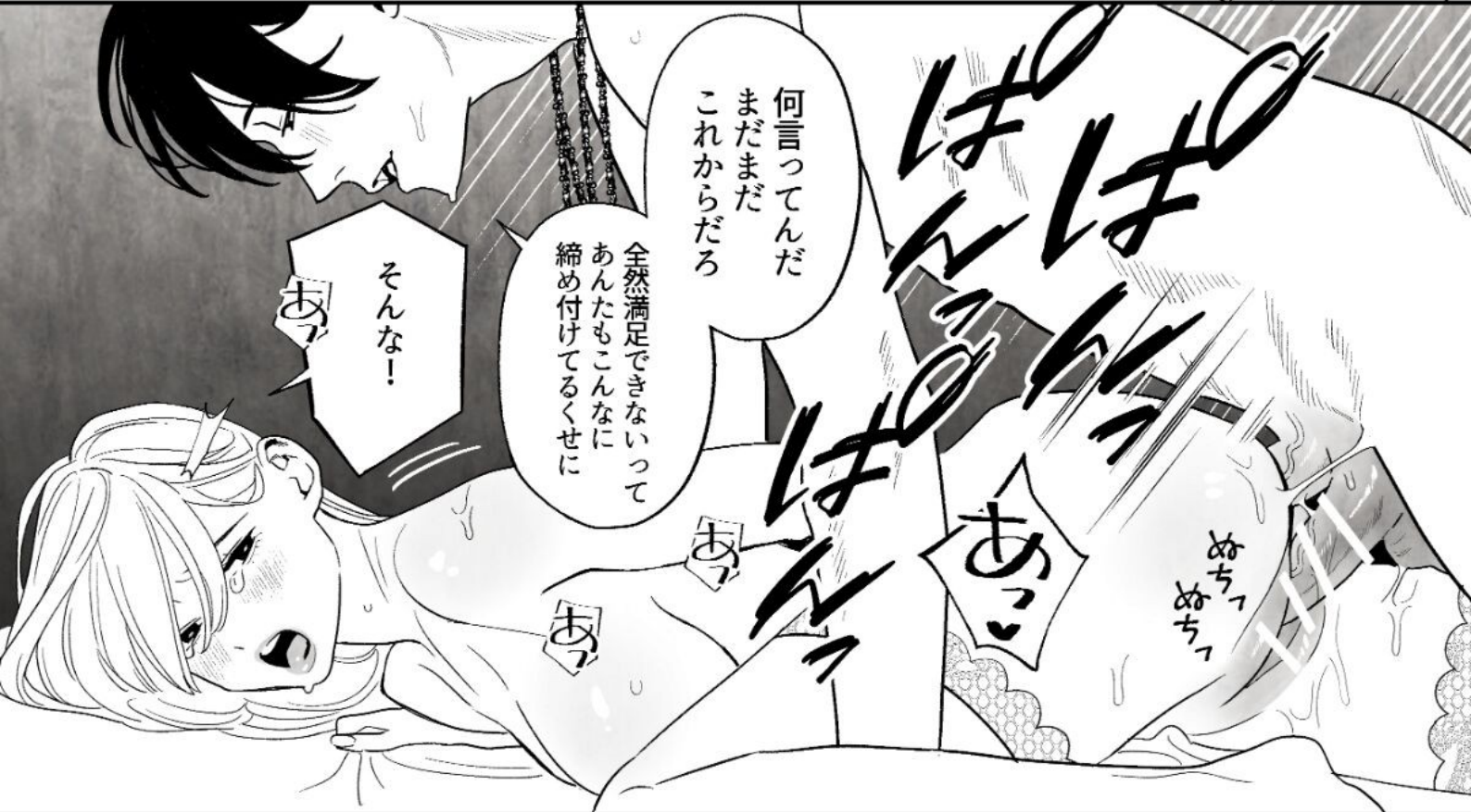
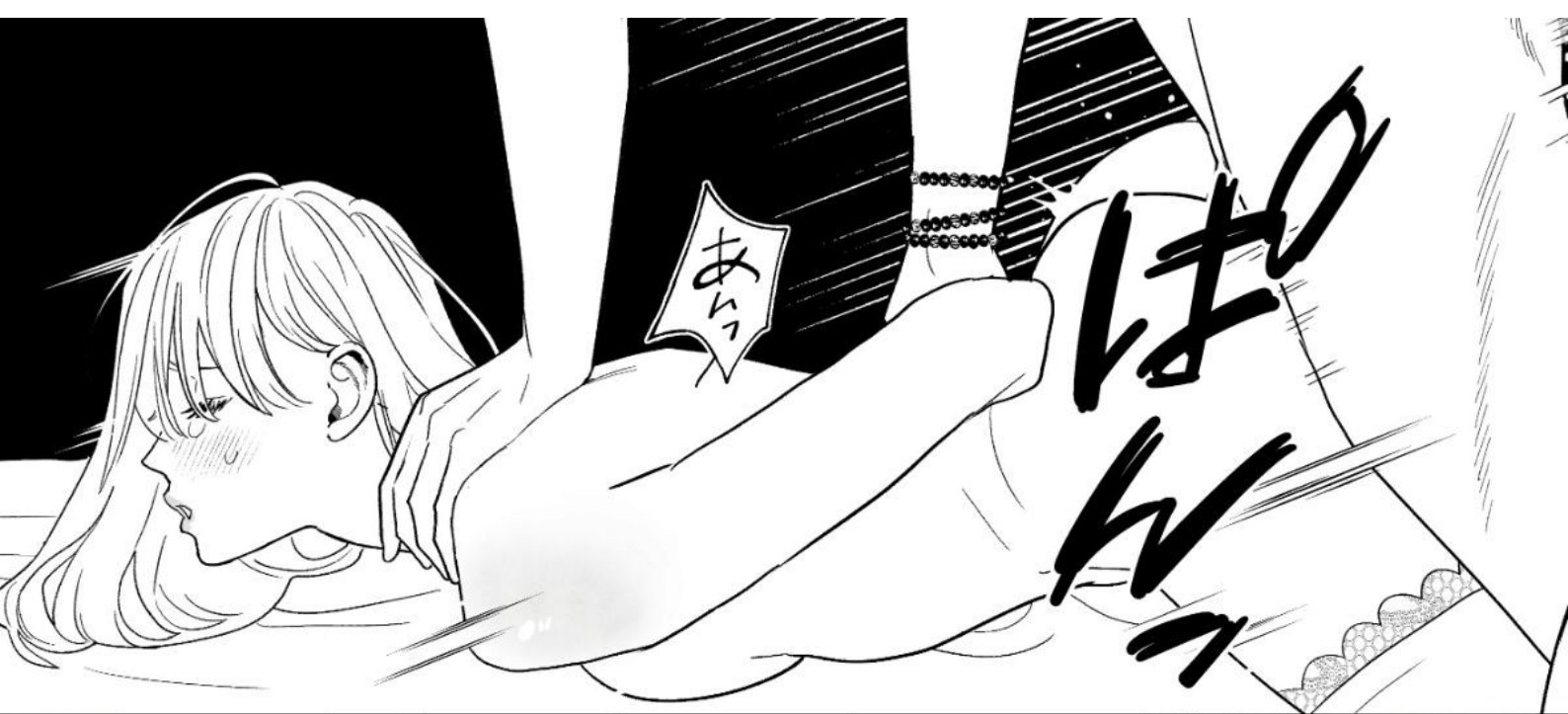
はー  
はー

あー  
あー  
あー

あー

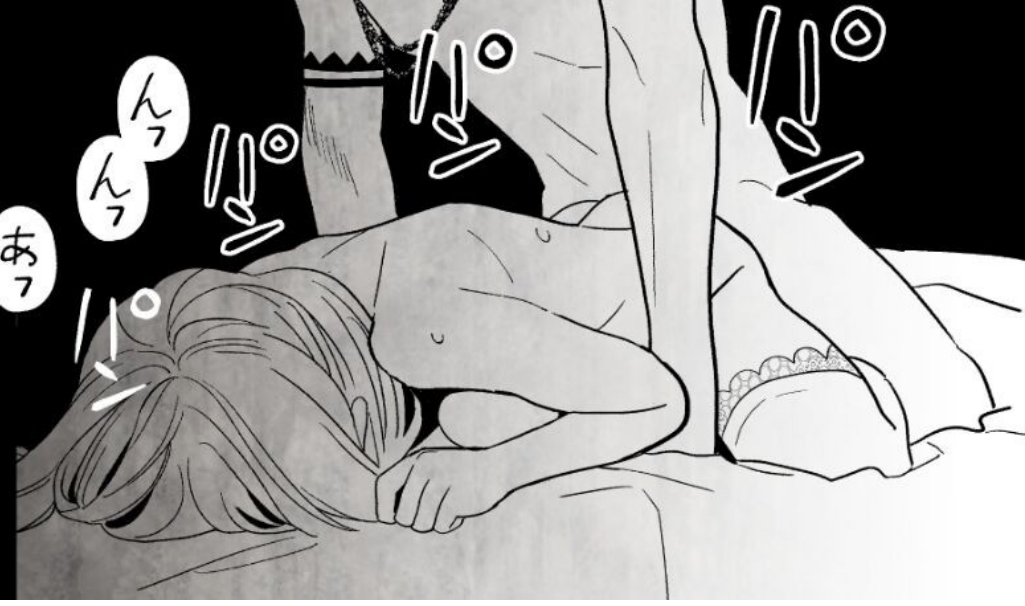
あー

あー  
あー  
あー



彼はきつと私を  
罰しているのだろう...

それも仕方ないのかも  
しれない...





しかし

私達は2人で  
遠くへ逃げようと決めた

もうここには  
いられない

錠を破って  
彼と会っていた私の姿を  
村の人達に見られてしまった



貴方は  
あの魔物に騙されて  
いるのです

今ならまだ  
赦されます…

何処へ行こうと  
神は見えておられます



修道院で育った私は  
幼い頃から教えられてきた  
神の錠が身に染みついている

その錠を破るのが  
突然怖くなった私は彼の元へ  
行けなかった…

お…お赦し  
ください…

イブ…  
今一度教えを説く  
必要があるようですね…





次の日いつもの場所に  
行ってみると  
やはり彼はいなかった…



その後彼の元には討伐隊が  
送られたと聞いた



これは  
私が神の掟に背いて  
何度も彼と会っていたから  
彼を傷つけてしまった…



そこにあつたのは  
村人が放った矢と  
彼の血の跡



自分の罪を認め  
それから私はより一層  
信仰深くなった

心の弱い私の罪…



今日は  
ルシと二人で  
クエストをこなして  
もらうぞ！

数年後私は  
勇者様の仲間に加わり  
村を離れたが…



彼と  
二人ですか……  
わかりました…

彼仲間に加わったことを  
喜んでいた勇者様に昨日のことを  
相談出来るはずもなく……

ずっと  
彼を裏切ってしまった  
ことを後悔していた



魔物だわ！



魔物が現れた！





二人つきりの時には  
場所や時間関係なく  
行為を求められ



あ  
いやっ  
こんな所で  
誰かきちやう!  
あ

今はダッ……!  
あ  
あ



私はそれを拒むことができません  
流されるままに体を差し出した



イブさんとルンさん  
どこ行ったんですかね？

こんな関係  
良くないことだつて  
わかつてる…

そろそろ  
出そうだ

くちゅっ

くちゅっ

ホラしっかり  
味わえ



ただどこれは  
彼に対する懺悔の  
つもり…

はあ

はあ



飲みこめ

…

グン  
グン  
グン

ドロ…  
ドロ…



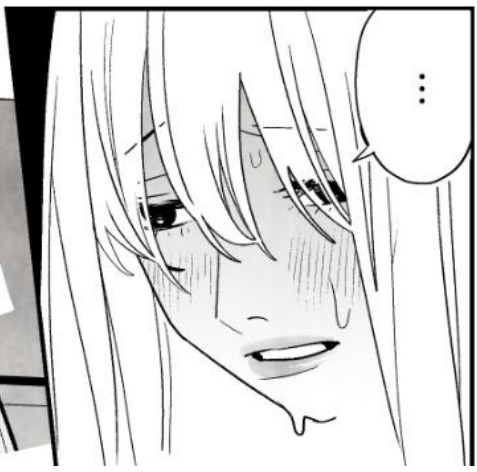
だから  
彼の気が済むまで  
私は黙って罰を  
受け入れる事にしたわ…

くま…

ゴ  
ゴ  
ゴ



イブ



…









あの時…  
私の心が弱いばかりに  
あなたを裏切って  
しまった…



あなたの気が済むまで  
好きにしてくれて  
構わない…

だけどこれだけは  
伝えておかないと  
心が苦しくて…

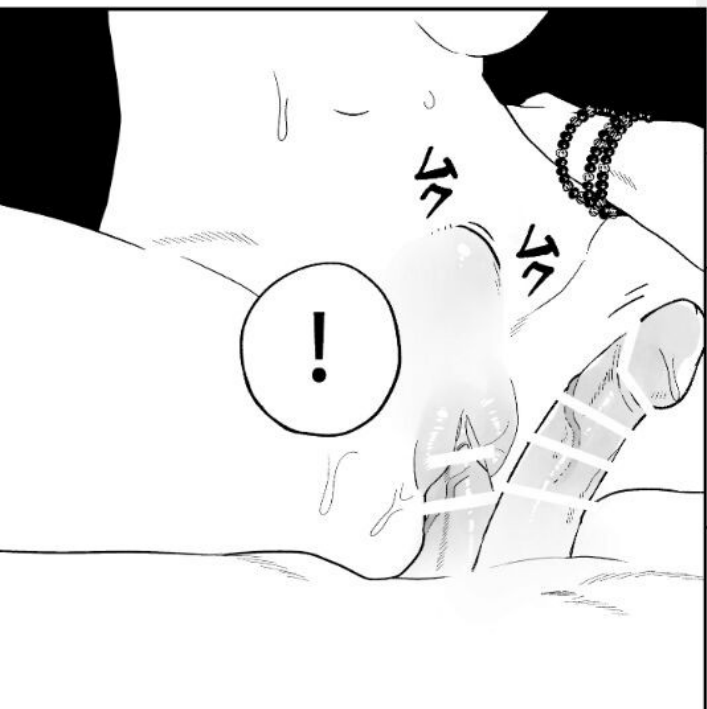


ごめんなさい…



ずっとそのことを  
後悔していたの…

今更許される  
事じゃないけれど



!



言葉に出して  
気持ちを楽し  
ませたかっただらう？



謝って  
許された  
気でののか？

そんな  
とは…



ど…どうして  
大きくなるの

俺に懺悔する  
あんたを見ていると  
ゾクゾクするなあ



いっ…  
痛いわ

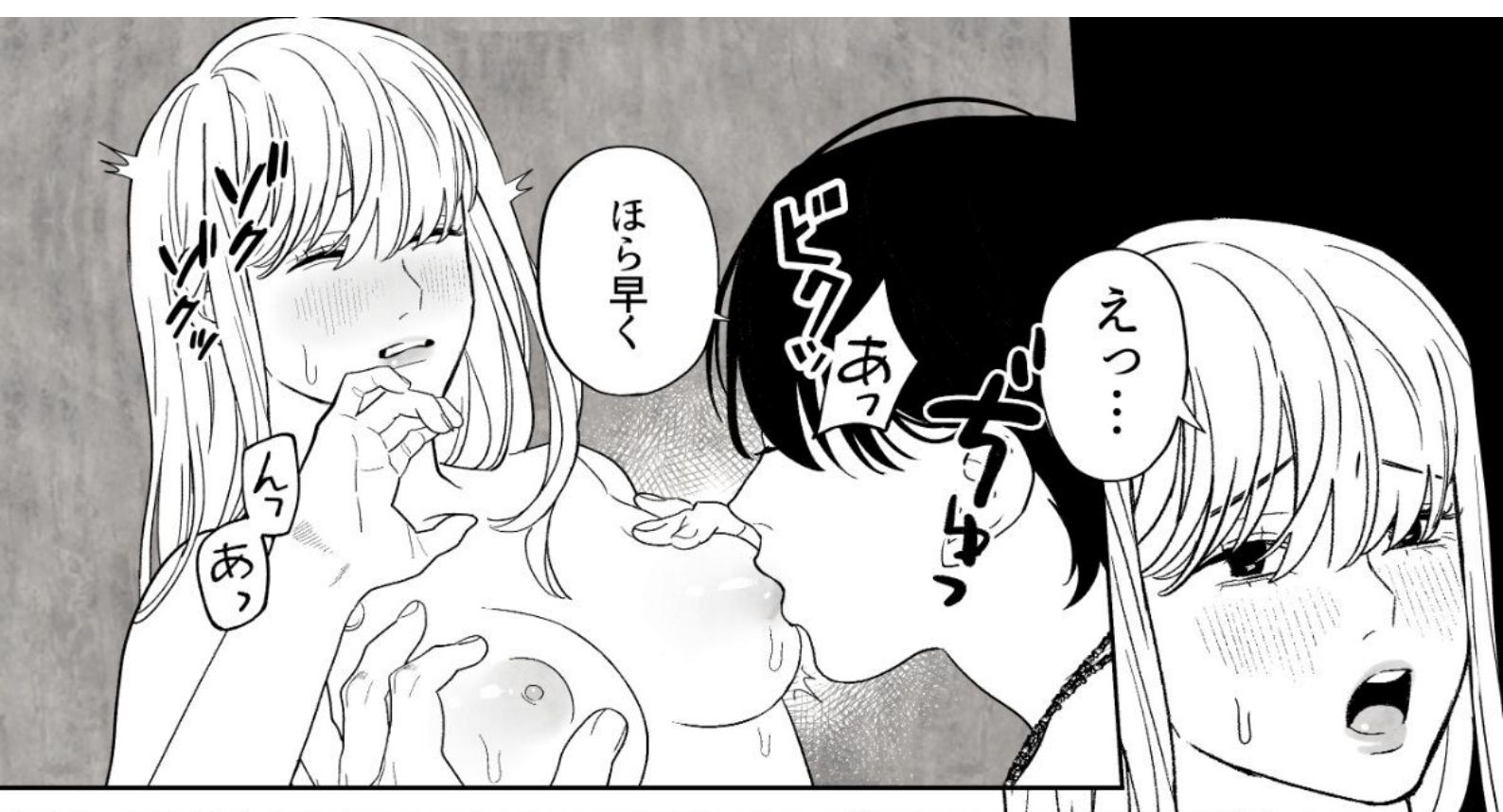


あの日あんたじゃなくて  
討伐隊の奴らが来た時の  
俺の気持ちかわかるか？



心の底から  
本当に悪いと  
思っているなら

その体制のまま  
腰を動かして  
俺に再び懺悔しろ





ごめんなさい……!

ごめんなさい!

ハッ  
キュンッ

ハッ  
キュンッ

ハッ  
キュンッ



ごめんな  
さい……!

ゆるして……

ハッ

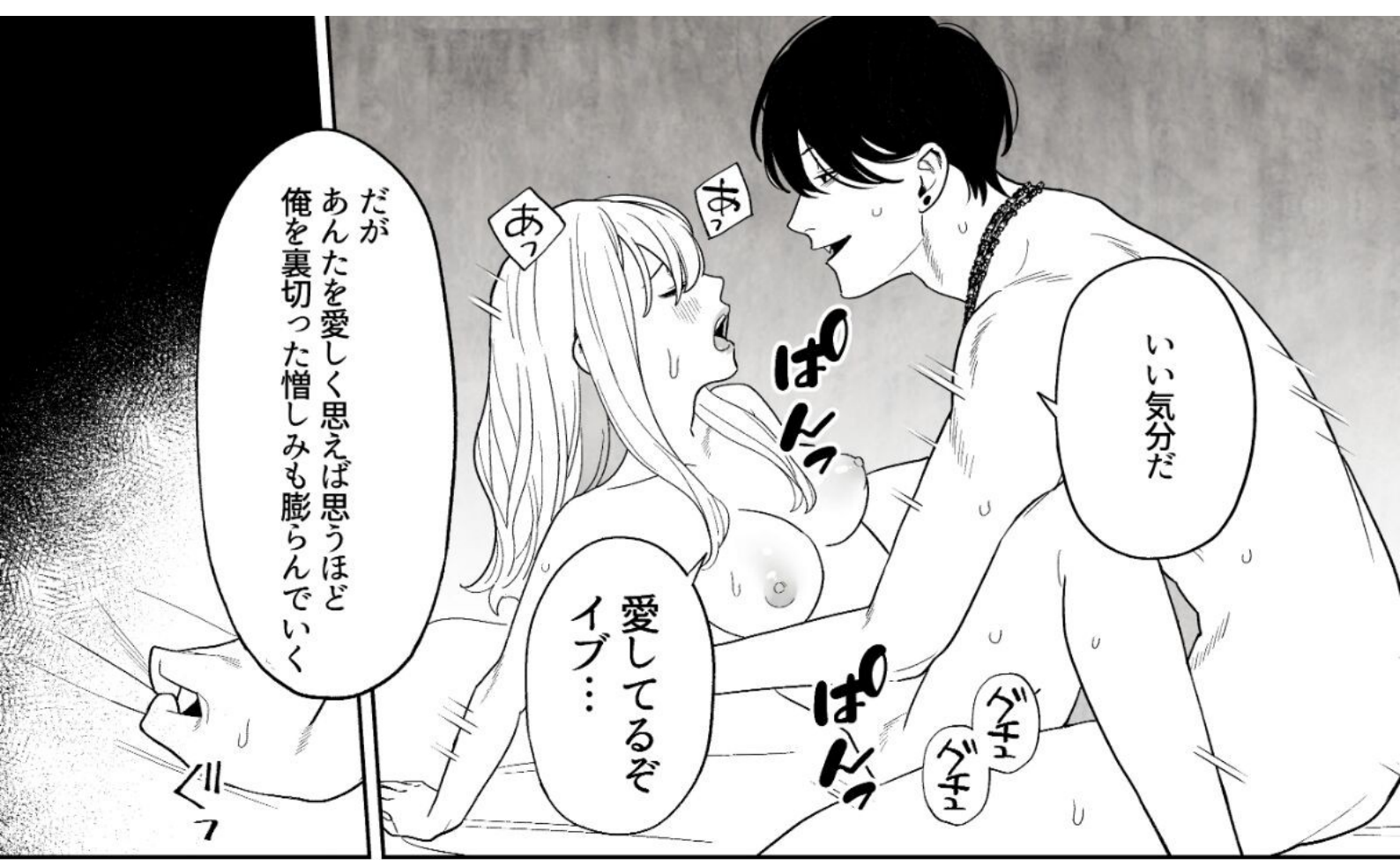
ハッ



あんたこんな状態で  
気持ちよくなって  
マゾなのか?

ハッ

ハッ





私も貴方のことが好きよ…

今でも…

会えない時もずっと思ってた



私達やり直すことは出来ないかしら…

かば



今更無理だ…

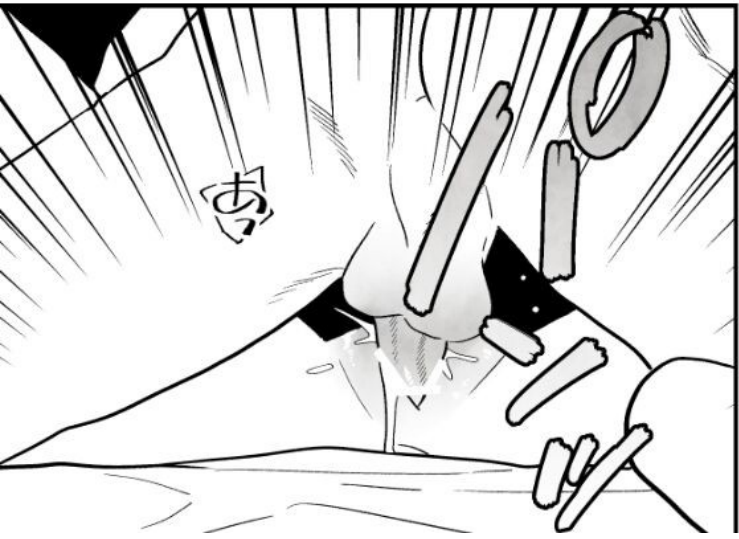


修道女であるあんたは  
魔物と関わるなという  
神の掟を破るのが怖くて  
俺から逃げた

その掟とやらを  
捨てて


あんたの中に生まれる  
罪悪感が無くならない限り

俺もあんたも  
真に愛し合うことは  
出来ない









ええ…  
何処へも  
行かない…

ずっとあなたと  
いる…

でもこれ以上  
私達の関係を皆に  
隠してはおけないわ

次の日

なにー!?!  
二人の交際を  
認めて欲しいだと!?!

お前たち  
いつのまに!!

今まで内緒にしている  
申し訳ありません

人と魔物がそういった  
関係になってはいけない掟の  
ことはわかっています

掟?  
なんだそりゃ?

ですが  
どうか私達の関係を  
認めて頂けませんか?

そんなの  
勇者に聞くまでも  
ないぞ!!

えっ

好きにしろ!!

今の指導者である勇者に許しを  
貰ったイブの心から罪悪感が  
消え去ったことで二人の間の  
わだかまりも無くなり  
その後めでたく結ばれました

☆高速ハッピーエンド  
ありがとう勇者様ー!

## あとがき

初めまして、人面シジミです。  
ここまで読んでいただきありがとうございます。

何か新しいことをしてみたいと思い初エロ漫画に挑戦しました！  
仕事の合間にちょこちょこ描いていたら、  
なんと描き始めからいつの間にか一年が経過してしまっており  
長かったページを大幅カットしたりしてなんとか形にすることができました…！  
エロ絵自体始めて描いたのでとっても新鮮で楽しく描くことができました！

また機会がありましたら挑戦してみたいなと思っているので  
その時はどうぞよろしくお願いします！それでは！

※コメントには人面シジミ以外の名前は出さないように  
よろしくお願いいたします。



